

DOKIGAWA

リバーキーパーズ

RiverKeepers



つうしん

Vol.183(令和2年8月)

処暑を過ぎても残暑が厳しい毎日ですが、リバーキーパーズの皆様はいかがお過ごしでしょうか。熱中症は、日中のみならず、夜間にも起こる可能性があります。就寝前にエアコンで部屋を26度に冷やし、睡眠中は温度を28度、湿度を50%前後に保つのが、熱帯夜の快眠に最適な環境だそうです。

今回は、8月7日(金)に行われました『令和2年度 土器川ホットライン訓練』と、8月20日(木)に行われました『香川県水防講習会』、令和2年7月豪雨の被災地に派遣した『TEC-FORCE』について報告します。

○令和2年度 土器川ホットライン訓練

土器川沿川の3市4町では、水害の発生前から迅速で的確な対応をとるために、「いつ」「だれが」「どのように」「何を」するのかを明確にし、どのような対応をとるのかを把握するため、タイムライン(防災行動計画)を作成しています。

香川河川国道事務所では8月7日にホットライン訓練を開催し、首長が水位・時間ごと取るべき行動の目安や、どのような情報伝達が行われるかをタイムラインに沿った想定で実施しました。

なお、今回の訓練は新型コロナウイルスの感染症拡大防止を目的にWeb会議形式を採用しました。

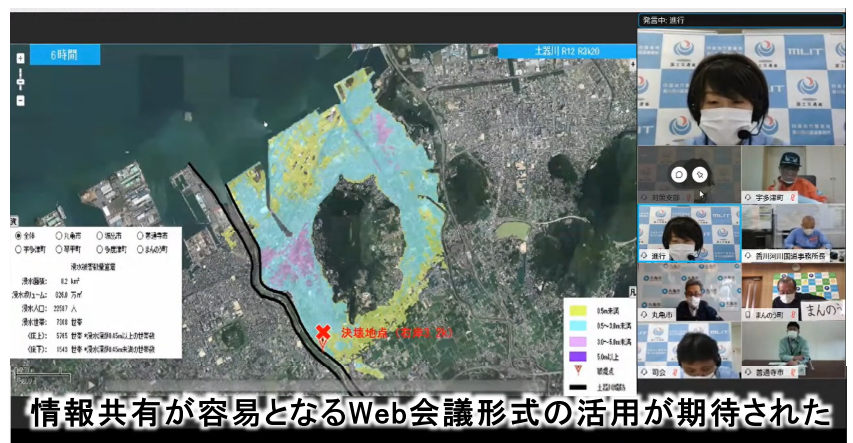
- 開催日時 令和2年8月7日(金)10時25分～11時30分
- 参加自治体 丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町
- 伝達事項
 - ①避難判断水位超過に伴う「避難準備・高齢者等避難開始」
 - ②氾濫危険水位町家に伴う「避難勧告」
 - ③計画高水位到達に伴う「内水対策ポンプ停止」
 - ④堤防決壊による氾濫発生に伴う「氾濫発生情報」

【首長からの意見】

- ・香川河川国道事務所との土器川水防に関する連携の重要性を実感した。
- ・避難勧告発令のタイミングなどを具体的にイメージできた
- ・電話が基本であるがWEB会議も本番で使用すれば良いと感じた。
- ・目に見える形でのやり取りは非常に心強く感じた。



ホットラインによる情報伝達状況
(庄野事務所長)



情報共有が容易となるWeb会議形式の活用が期待された

○香川県水防講習会の開催

令和2年8月20日(木)、中讃土木事務所で香川県職員に対して四国地方防災エキスパート(3名)と協働したロープワーク技術の水防講習会を開催しました。

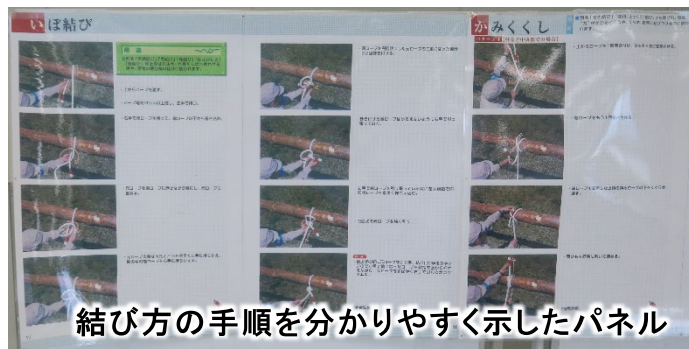
香川県では毎年、防災関係機関の連携強化を図るとともに、自主防災組織の育成強化や県民の防災意識のより一層の高揚を図るため、「香川県総合防災訓練」を実施しています。今回の水防講習会は、8月30日に香川県消防学校(高松市生島町)で開催する「令和2年度 香川県総合防災訓練」内のロープワーク体験コーナーにおける指導者の養成を目的としています。

水防講習会には香川河川国道事務所の工務第一課に来ている実習生も参加し、災害時はもとより生活の中でも役立つ代表的な結び方を学びました。

香川河川国道事務所では今後も、防災・減災に関する知識・技能向上の指導依頼に対応した活動を継続的に実施してまいります。



防災エキスパートからの説明



結び方の手順を分かりやすく示したパネル



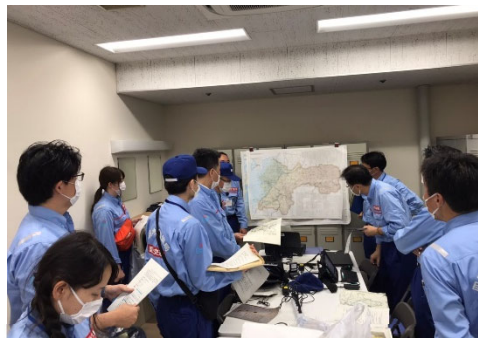
防災エキスパートの指導の様子



実習生のロープワーク体験の様子

○令和2年7月豪雨被災地へのTEC-FORCE隊員の派遣

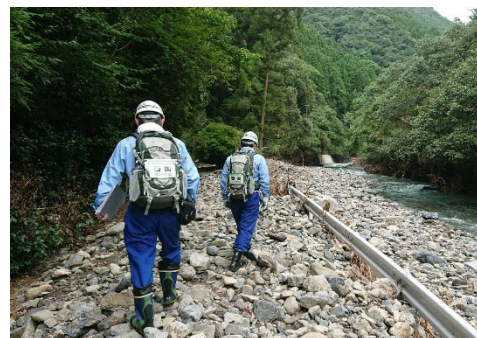
四国地方整備局では、令和2年7月豪雨により九州地方で甚大な被害が発生したため、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)を被災地に派遣し、支援活動を行いました。香川河川国道事務所からは7月9日~7月31日に河川班として隊員を派遣し、熊本県八代市にて河川氾濫等による被災状況調査を実施しました。



調査前の打合せの様子



被災状況調査の様子



土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしとご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1619(工務第一課直通) FAX:087-821-1713

